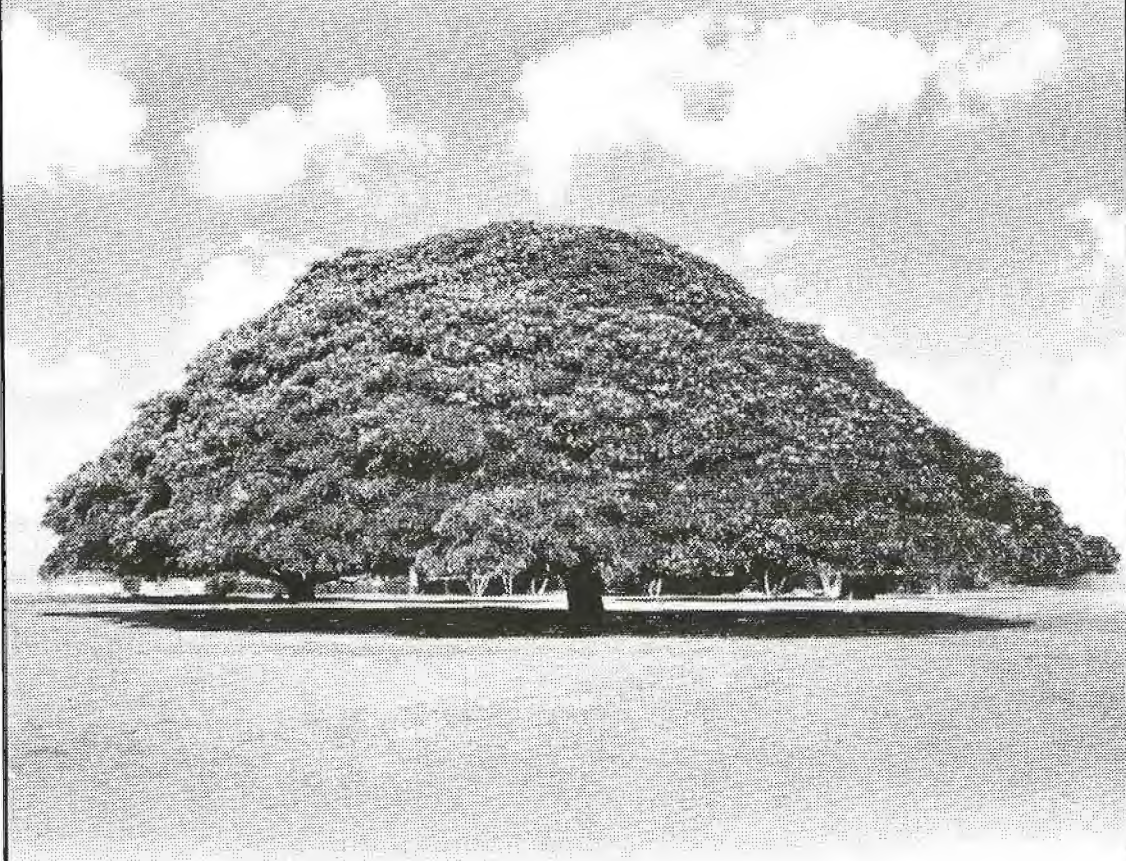


技術の日立



最先端の技術を使って
暮らしに新しい便利さや楽しさを
ビジネスに創造性や高い生産性を実現すること。
それが、人と技術の理想をめざす
日立の「インターフェイス」の願いです。

Interface

インターフェイスは、「人と技術の理想をめざす」日立のスローガンです。

第12回
日本リーグ
詳報

湧永製薬 (男子) 大崎電気 (女子) がVを奪回



第12回日本リーグは、3月6日
栃木、京都、茨城の3会場で最終
日を迎え、男子は湧永製薬が5戦
全勝で2年ぶり4回目の優勝を飾
った。

前半終了間際、大崎の2分間退
場のチャンスに、酒巻、河原の連
続速攻で15-13と優位に立った湧
永は、後半出だしも大崎ディフェ
ンスの間隙をぬって着実に加点。
その後の大崎の反撃もGK井藤の
再三にわたる好守などでふり切り、
2年ぶりの栄冠を獲得した。

今日の試合は、エースの玉村を
マークされながらも、荷川取らほ
かの選手がよく頑張ってくれたこ
ととGK井藤を含めたディフェン
スの勝利。来シーズンもこの勢い
を持ち込み、一つ一つ勝って4大
タイトルの独占を狙いたい」
と湧永・山本伸二監督。

くらし、ひろげるジャスコのカード

会 員 募 集 中

ファッションから食品まで
サインひとつでお買物。

ご入会手続きも簡単です。
お気軽にお申込み
ください。



お支払いもいろいろ

●月々のお支払いがラクな

リボルビング払い

●手数料なしのおトクな

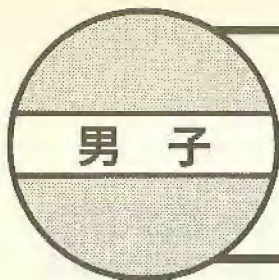
一回払い

●お求めはいま、お支払いは

ボーナス一括払い

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店
サービスカウンター又は、販売員におたず
ねください。





湧永製薬

が2年ぶり4回目の優勝

◇1月30日 (大阪)

大崎電気 26 [115 | 121] 23 大同特殊鋼

〔戦評〕互いに初戦とあって固さの見える立ち上がりであったが、新装なった大阪府立体育館にいはれの観衆の声援を受けて、両チームともすばらしいシュートをさく裂させ、最後まで気の抜けないゲーム展開となった。

ややディフェンス不調の大同に対し、大崎はGK矢内を軸に高い壁とプレス気味な1・5で相手のミスを速攻につなげて、前半15分過ぎに一気に抜け出し、4点差でUターン。後半も10分に2点差まで詰め寄られたが、余裕ある試合運びで逃げ切った。

得006181204100
同村吉中藤村川本井生浜藤田
〔大上秋田内高市中河蒲横佐海江〕

G K F P (審・井・島・上・崎) P T (0) 23

〔大崎〕辺内岡田藤田本迫田野下
得0028032401006
〔大渡矢松和〕

◇1月31日 (埼玉・戸田市)

大崎電気 44 [222 | 151] 25 トヨタ自動車

〔戦評〕トヨタ自動車は、昨年の入替戦で一部に昇格、戦いぶりが注目されたが、初戦でもあり緊張感から立ち上がりミスが目立ち、大崎の宮下、首藤らの力強いプレ

に終始押された。

後半、トヨタは速攻と坂口のロングシュートで反撃したが、大味なゲーム展開となり、大崎の豪快なブレイクの前に屈した。

尚、この試合で大崎電気はチーム1試合最高得点(従来は大同特殊鋼の42点)の記録を更新した。

得0046033006300
〔大〕哲井井田井江坂口野原尾
〔西〕中西香川酒堀中白坂平徳松

G K F P (審・市・齊・瀬・藤) P T (3) 25

〔大崎〕辺内岡田藤田本迫田野下
得0094143602015
〔大渡矢松和〕

◇1月31日 (神戸)

大同特殊鋼 21 [13 | 4] 10 本田技研

〔戦評〕大同は、立ち上がりから気迫あふれるプレスディフェンスで本田のパス筋を分断し、横浜、佐藤の好タックルによる速攻で3連取、5連取とたて続けに得点を

得000033130000
〔本〕畑本砂松井木上藤屋本村子
〔大〕大橋真三藤立尾内栗山山平

G K F P (審・浅・井・本) P T (1) 10

〔大〕同村吉中藤村川満生浜藤千田
得0042200027400
〔大上秋田内高市中蒲横佐中海〕

21 (7) P T

重ねた。また、守っても10分過ぎから交替した上村のキーピングが冴え、P.T、ノーマークシュートを次々とはいき返してムードを盛り上げ、前半で圧倒的優位に立った。

本田は、コントロールタワー田口を欠いて、今一つリズムに乗れず、ルーキー藤井の高打点シュートで追撃するが、散発で本来のストビードブレイが最後までかみ合わず、大同に終始圧倒され、いいところなく敗れ去った。

◇1月31日 (横浜)

湧永製薬 26 [179 | 111] 21 新製鋼

〔戦評〕開始10分までは3-1と両チームとも譲らず、緊迫したゲームが展開され、一進一退のすばらしい試合内容になった。前半を10-9の1点リードで折り返した日新は、後半もそのペースを持続。湧永はベテラン生駒を投入し、玉村を生かしながら持戦に持ち込んだ。残り11分で18-18になり、両チームの激しい攻防となったが、

得002033270120
〔新〕川田田山木斐井野田本中
〔日〕西森森 武西高甲藤日堀藤野

G K F P (審・中・出・山) P T (3) 21

〔湧永〕城藤駒村田賀川取田原巻原
得002713300510071
〔大〕大井生玉堀志中荷奥橋酒河

26 (3) P T

最後は総合力で勝る湧永が日新を突き放した。

尚、湧永の選手兼任の監督・山本はこの試合に出ず、采配に専念したため、連続出場試合得点記録は103試合でストップした。

◇2月14日 (岩手)

大崎電気 33 [161 | 101] 21 新製鋼

〔戦評〕スタートは両チームともよく打ち、得点の多いゲームを思わせたが、GKはともによく取っているが、多彩な攻撃手段を持つ大崎は、宮下、首藤のロングシュート、大和田、松岡のポストがよい位置から得点を重ねた。

得000273220320
〔新〕川田田山木斐井野田本中
〔日〕西森森 武西高甲藤日堀藤野

G K F P (審・半・菅・野) P T (6) 21

〔大崎〕辺内岡田藤田本迫田野下
得0045263412006
〔大渡矢松和〕

◇2月20日 (四日市)

本田技研 26 [142 | 101] 21 トヨタ自動車

〔戦評〕1部に昇格して2戦目のトヨタ自動車、初戦は大崎電気に大敗したが、この試合は、よく粘りを見せて、善戦した。

先制したのはトヨタで、坂口のシュートでリード。しかし、立ち上がりとともに動きが固く、あま

り点の動かない展開、トヨタはその後8分近くノーゴールで4-1と逆転される。しかし、20分を過ぎてから川田を中心に猛反撃、9-5から12-11と1点差に迫り上げる。

後半は、立ち上がり本田・内藤が先制、その後一進一退の展開となったが、本田は山本、立木、栗屋といったところが、着実にシュートを決めてじりじりと引き離し、終盤粘るトヨタをふり切った。

得点0007022640000
トヨタ 井森 井田 井江西口 野原 尾村
〔西富香川酒堀中坂平徳松田〕

G K F P (審・板倉) P T (1) 21
本田 砂松 井木 上藤 屋口 本村
〔本大橋真三藤立尾内栗田山山〕
得点00400151270033
26 (3)

◇2月21日(福井)

日新製鋼22 (913-118) 19トヨタ
〔戦評〕日新は早いボール回しからのポストプレーや足を生かしたディフェンスからの速攻で着々と加點し、余裕のある試合運びとなる。一方トヨタは攻めあぐみ、ノーマークシュートもGKの好守に阻まれた。

後半、トヨタは坂口のロングシュート、そしてポスト、速攻と3連得点、12分には1点差まで詰め寄ったが、日新が要所要所で西山

高木のシュートで加點し底力を示した。

得点0028014310000
トヨタ 井森 井田 井江西口 野原 尾村
〔西富香川酒堀中坂平徳松田〕

G K F P (審・越田) P T (4) 19
新川 田山 木斐 井野 田本 中
〔西森 武西高甲藤日堀藤野〕
得点000052811002300
22 (2)

◇2月21日(岐阜)

本田技研 25 (1015-915) 24大崎電気
鈴鹿
〔戦評〕前半は本田ベースで試合が運んだが、終了5分前に本田・内藤が退場となる間に、大崎、宮下のロングシュートが決まり13-13の同点となる。

後半、本田は4連続ゴールでベイスをつかんだかに見えたが、大崎も3連続ゴールなどで粘りをみせ、一進一退の攻防が続いた。後半終了1秒前に、1点差で大崎がフリースローをもらい、最後の同

得点000740031300006
大崎 辺内 岡田 田藤 田本 迫田 野下
〔大渡矢松大武首中山越菅大宮〕

G K F P (審・岩永) P T (3) 24
本田 砂松 井木 上藤 屋口 本村
〔本大橋真三藤立尾内栗田山山〕
得点0040007005222005
25 (1)

点をねらったが、大崎、宮下のロングシュートは、惜しくも本田GK橋本に阻止され、本田が勝利を飾った。

◇2月21日(青森)

湧永製薬21 (1110-56) 11大同特殊鋼
〔戦評〕プレイングマネージャーの蒲生自らがゴールに立ち、湧永に矢張り報いるべく立ち上がった大同であったが、攻め手に今一つ決め手がなく、玉村を中心にロング、ミドル、ポスト、サイドと変幻自在の攻撃展開を見せた湧永が快勝した。

大同は、エース高村が無得点という結果で、これが湧永との10点差を生んだといえる試合内容であった。

得点0000401101211
同村 吉中 藤村 川本 井生 浜藤 田江
〔大上秋田内高市中河蒲横佐海〕

G K F P (審・菅野) P T (1) 11
永城 藤駒 村田 賀川 田取 田原 原
〔永大井生玉堀志中内荷奥檜河〕
得点000082000014006
21 (9)

◇2月27日(東京・駒沢)

湧永製薬25 (1114-89) 17本田技研
〔戦評〕前週、全勝の大崎に土をつけた本田は、この試合に勝てばV2をほぼ手中にできるところだったが(同勝点は対戦者間勝敗を

優先)、スタートで湧永の気迫のこもった攻撃の前に劣勢を強いられ、イージーミス連発して湧永の速攻を許し、湧永が大きく優位に立った。これですっかり気をよくした湧永は、多彩なシュートで得点をあげる玉村を中心に、志賀荷川取をポストに据えてのコンビプレーで着実に加點。後半はGK井藤を軸とする手堅いディフェンスも冴えて一気に勝負を決めた。

得点0010102340006
本田 砂松 井木 上藤 屋口 本村
〔本大橋真三藤立尾内栗田山山〕

G K F P (審・後藤) P T (5) 17
永藤 駒村 田賀川 田取 田原 原
〔永井徐 生玉堀志中荷奥檜酒河〕
得点00008031250042
25 (0)

◇2月28日(神奈川・秋葉台)

湧永製薬33 (2013-97) 16トヨタ
〔戦評〕トヨタ自動車のエース坂口の開始早々のロングシュートは

得点00024024310000
トヨタ 井森 井田 井江西口 野原 尾村
〔西富香川酒堀中坂平徳松田〕

G K F P (審・千野) P T (1) 16
永城 藤駒 村田 賀川 田取 田原 原
〔永大井生玉堀志中内荷奥檜酒河〕
得点000100223044337
33 (6)

各種記念品 バッチ・メタル・優勝カップ・楯 トロフィー・ネクタイ止・金銀製品 製造販売

シマダ 記章株式会社

電話 東京(03)973-0741(代) 東京都板橋区中丸町49-3
〒173 FAX. 東京(03)973-0674

枠の外に、一方、湧永製薬・玉村のロングシュートは枠内にきっちり決まり、この試合の行方を感じさせた。

後半の半ばで大差がついたが、内容的にはなかなかの好ゲームであった。

◇2月28日(山口)

日新製鋼20(1010|9|8) 17大同特殊鋼

〔戦評〕10分過ぎまで両チームともディフェンスのマークが厳しく、3-3の同点。11分、12分と大同に連続してPTがあったが、日新GKの好守に阻まれ、日新のベイスとなった。両チームGKの好守などで白熱した展開となったが、10-8と日新の2点リードで前半を終了。

後半に入って、日新は3点連取。しかし大同も4点を連取、10分過ぎには14-12と日新がリード。その後も日新のリードで激しい攻防となったが、残り4分、大同は1点差まで詰め寄ったが、とうとう追いつくことができず、逆に日新

が3点を連取して逃げ切った。

◇3月5日(岩井総合体育館)

本田技研22(139|101|) 21日新製鋼

〔戦評〕前半立ち上がりから双方とも闘志あふれる激しいプレーを展開したが、お互いにベイスをつかみ切れずに、日新の2点リードで前半を終了した。

後半に入ると、本田のディフェンスが良くなり、日新に決定的なチャンスを与えず、日新のパスミスなどに乗じて19分に逆転した。その後は双方とも一歩も譲らず1点を争う好ゲームとなった。本田1点リードのまま残り3秒前、日新はゴール正面から最後のフリースローのチャンスがあったが、シュートまでもっていくことができず、本田がそのまま1点差を守って逃げ切った。

得0000263320320
新川田 田山木斐井野田本中
〔西森 武西高甲藤日堀藤野〕

G K F P (審・宮沢)

得000021006311009
本橋真三藤立尾内栗田山山
〔大橋真三藤立尾内栗田山山〕

◇3月5日(京都)

大同特殊鋼30(1416|510|) 15トヨタ

〔戦評〕立ち上がり早々から大同の気迫は充実し、トヨタのミス



◇3月5日(板木)

湧永製薬30(1515|1413|) 27大崎電気

〔戦評〕この試合に勝てば優勝というところで両チームともスタートから気迫のこもったプレーを展開し、1点を争う好ゲームとなった。前半終了間際、大崎の宮下が退場となり、このチャンスに湧永は酒巻、河原の連続速攻で15-13で前半を折り返した。

後半に入って、湧永は着実に河川取、玉村が加点し、懸命に追いつける大崎を振り切った。

得0056020200000
井森井田井西坂口野原尾村
〔西富香川酒中白坂平徳松田〕

G K F P (審・山本)

得00111550112474
同村吉中藤村川本井生本取田
〔大上秋田内高市中河蒲中名海江〕

得00117000103054
湧永城藤駒村賀川田取田原巻原
〔大井生玉志中内荷奥梶酒河〕

G K F P (審・三井)

Victor

今日のヒーローは
背番号6。

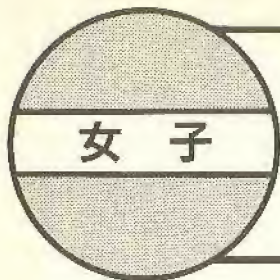
ヒーローになる選手は、どこか輝いている。
新発売のコンパクトカラー「6inch Magazine」
も、ファッションブルでスポーティで、感度
バツグンのパーソナルタイプ。輝いているナ。



ハンドボールニころを満たす

Magazine
6inch

6型コンパクトカラーテレビ
CX-60
標準価格 79,800円 (AC電源付)



大崎電気

が2年ぶり3回目の優勝

◇1月30日 (大阪)

大和銀行 25 [1312-111] 20 日 本

〔戦評〕序盤は、双方ともイーजीミスが目立ち、ボールが手についていなかったが、地の利で大和が一步リード。しかしピクチャーも全員がよく走り、中盤ではフリースローで丸田一人に頼る大和を逆転、主導権を握ったが、今一息追い討ちがなく、10-7から再逆転を許してしまう。

後半、技川の速攻、長田のPT2本などで一気に追い越したピクチャーは、武藤のがんばりなどで15分過ぎまで優勝を保つが、次第に息切れが目立ち始める。その間、調子を取り戻した大和のパワフル左腕・巖川の強烈なミドルシュートが再三ネットに突き刺さり、終盤の攻め合いを制した大和の快勝となった。

得0076320101000
口橋藤田川條松本田藤井村
〔日〕小高武長枝下平根太工松中

G K F P (審・北山) PT (3) 20

和〔大〕濱見田木瀬村池本辺川瀬田
得0091312216000
〔高〕増丸鈴赤上小藤渡巖木松

◇1月31日 (埼玉)

大崎電気 26 [1214-1114] 25 立石電機

〔戦評〕両チームともリーグ初戦

でもあり、立ち上がりから白熱したゲーム展開となった。

前半、大崎は松尾のスピーディな攻撃、立石は野嶋の10得点をあげる活躍などにより同点で折り返した。後半に入っても、追いつかれつたのシーソーゲームをくり広げた。同点で迎えた24分、大崎・尹が退場となったがよく守り、立石は得点できなかった。その後残り2分、1分と大崎が連続得点をあげゲームは決まったかに思えたが、立石もよく粘り、1点差として終了間際、速攻で同点としたかに見えたがラインクロスでゲームセット。エキサイティングな好ゲームであった。

尚、この試合で大崎・石井は前半6分に得点し、自己の持つ連続試合得点記録を51試合と伸ばした。

得000022214022203
石本下口内口田嶋中津山利本
〔立〕岡竹山山江横野田武中毛橋

G K F P (審・清水) PT (1) 25

崎〔大〕西木田尾永井淵田
得000505302632
〔大〕佐森松須石徳野 金井 江鈴

◇1月31日 (神戸)

大和銀行 23 [1310-9] 18 ジャスコ

〔戦評〕ジャスコは大和オフエンスをよく研究し、フリースローからの丸田・巖川のロングを封じる

一方、全員がマイボールになるとこまねずみのようにボールを回すスピーディな全員ハンドで3連続得点の好ダッシュ。

大和も小池の3PTで中盤追いついたものの、お互いのミスからシーソーゲームとなり、サイドシュートからのPTが双方ともかなりあり、ディフェンスに荒さが見られた。

後半になると、ようやく丸田に当りの出だした大和が、ポスト・赤瀬、忍者・上村らをからませて着実に加点、主柱に人材を欠くジャスコのオフエンスを1・5でじっくり守り切り、余裕ある試合運びで巖川の絶不調をもものともせず連勝した。

得000022117061000
田部木田田辺石井出系田
〔深〕田部木田田辺石井出系田
〔小〕吉服佐石池渡常川東寿稲

G K F P (審・大原) PT (2) 18

和〔大〕濱見田木瀬村池井辺川瀬田
得005332641200000
〔高〕増丸鈴赤上小藤渡巖木松

◇1月31日 (横浜)

日立栃木 28 [1612-1612] 28 日 本

〔戦評〕立ち上がりから追いつ追われつた展開で、日立はキャプテン前田とエース山岸のロングシュートが光る。また、GK葛生がピクチャーの好シュートを再三再四の

キーピングを見せ、なかなか得点を許さない。しかしピクチャーは、前半15分過ぎから根本の的確なシュートと長田のペナルティーで着々と得点を重ねて、前半は12-12の同点で折り返した。

後半は、ピクチャーがGK小口を中心にディフェンスを固め、日立の強シュートを阻み、サイドの枝川が小気味良くシュートを決める。残り10分からは壮絶な打ち合いとなり、息もつかせぬ好ゲームで満員の観衆を魅了した。

尚、この試合の合計得点56は、女子ではリーグ新記録である。

得00864440500010
口橋藤田川條松本田藤村内
〔日〕小高武長枝下平根太工中山

G K F P (審・新木) PT (1) 28

立〔津〕生田沢原岸村家井田長鶴
得0093306000064000
〔梅〕葛前井菅山中繁新岡神吉

◇2月14日 (岩手)

大崎電気 33 [1815-1418] 28 日立栃木

〔戦評〕金玉花のリーグ新記録の16得点という大活躍で、大崎が日立に快勝した。
日立も前田、山岸がよく決めたが、後半、山岸に金玉花のマンツーマン気味のディフェンスをかけられ攻めあぐんでしまった。

得00930.74000140
立本生田沢原岸村永家井田長
〔岡葛前井菅山中神繁新岡神〕

G K F P (審・小友) P T (1) 28

〔西木田尾永井淵田 金尹 口木〕
〔大佐森松須石徳野 江鈴〕
得0001025016630

◇2月20日(四日市)

立石電機 30 (1911-8) 17 ジャスコ
山 鹿

〔戦評〕前半は全く一進一退の展開。立石はシュートミスが多く、地元の声援を受けたジャスコもよく粘って11-9の2点差で折り返した。

しかし、後半に入ってからジャスコの攻撃に決め手がなく、PTを2本つづけて失敗して得点があがらず、逆に立石は、野嶋、田中、中山といった各人がまんべんなくシュートを決めて着々と得点を重ね、大差をつけてジャスコを突き放した。

得0075022000120
立本生田沢原岸村永家井田長
〔岡葛前井菅山中神繁新岡神〕

G K F P (審・小坂) P T (1) 19

〔高増丸鈴赤上小藤渡瀬木松〕
〔濱見田木瀬村池井辺川瀬田〕
得0042362212000

◇2月21日(青森)

大和銀行 22 (913-811) 19 日立栃木

〔戦評〕大和は、丸田を中心に早い攻撃展開で2分には3-0とリード、しかし、日立も大和のシュートミスをうまく利用し速攻で逆襲、6分には4-3と逆転。その後両者ともに激しい得点争いとなり、終盤速攻により2連続得点をあげた大和リードで前半を終了。

後半に入り、日立は大和の激しいディフェンスに合い攻め手を欠き、15分間にわずかに1点しか取れず、一方の大和は好守からの逆速攻により着実に得点、17分過ぎには20-12と大きなリードを奪い試合を決定づけた。

尚、この試合で日立の前田は7点をあげ、女子初めの300ゴール(302ゴール)を達成した。

得00000048100003
立本下口内口田嶋中津山利本
〔岡竹山山江横野田武中毛橋〕

G K F P (審・日比) P T (4) 16

〔口橋藤田川條松本田藤岡村〕
〔小高武長枝下平根太工永中〕
得005534401001000

◇2月21日(岐阜)

日立 19 (910-106) 16 立石電機
ビクター 19 山 鹿

〔戦評〕立ち上がり、武藤、長田のシュートでリードしたビクター

は、ディフェンス力があり、立石も1点差まで追いつきはしたがパス、シュートミスが目立ち、ペーすをつかめない。

後半、立石は前半シュートの決まらなかった野嶋のロングシュートやスタンディングシュートが決まり出し、立石のベースとなったが、ビクターも前半のリードを保って逃げ切った。

得00414210032000
立田部木田田辺石井出田井
〔小吉服佐石池渡常川東福今〕

G K F P (審・川島) P T (1) 17

〔本下口内口田嶋中津山利本〕
〔岡竹山山江横野田武中毛橋〕
得0012003741714

◇2月24日(福井)

大崎電気 30 (1812-7) 16 ジャスコ

〔戦評〕前半23分まで1点を争う一進一退のゲーム展開であった。大崎は速攻で加点し2点リード。その後、ジャスコのGK小深田の負傷から吉田に代わるが、よく守り前半終了。

後半、大崎・松尾のポストシュートから始まり、尹のロングシュートなどで4連続得点。その後、波に乗る大崎は速攻などで着実に加点し、試合の主導権を握った。10分過ぎから尹がマンツーマンされ攻撃の足が止まったかに見える

たが、尹に替って森田が入って再び着々と加点、後半は大崎の一方的な展開となってしまった。

得0005231002120
立田部木田田辺石井出田井
〔小吉服佐石池渡常川池東今〕

G K F P (審・阿部羅) P T (2) 16

〔西木田尾永井淵田 金尹 口木〕
〔大佐森松須石徳野 江鈴〕
得0023143224902

◇2月27日(東京、駒沢)

大崎電気 30 (1515-1413) 27 大和銀行

〔戦評〕3戦全勝同士の対決、この試合に勝てば最終戦を待たずして優勝が決まるという大一番だけに、スタートから両者激しい主導権争いを展開したが、尹、金という絶対的な切り札を持つ大崎が、大和の執拗な追撃をふり切って2年ぶり3回目の優勝を遂げた。

大崎の左腕エース尹は、大和のマンツーマンディフェンスに

得0072144315000
立本生田沢原岸村永家井田長
〔岡葛前井菅山中神繁新岡神〕

G K F P (審・大出) P T (3) 27

〔高増丸鈴赤上小藤渡瀬木松〕
〔濱見田木瀬村池井辺川瀬田〕
得0003024061410

“まごころのおつきあい”が私たちのモットーです。



あなたの銀行

ホッ コク

北國銀行

本店

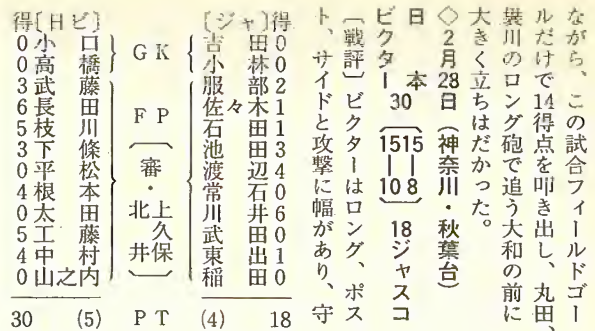
石川県金沢市下堤町

店舗

石川・富山・福井

東京・大阪・名古屋

京都・130か店



◇ 3月5日 (岩井)
日 本 32
ビクタ 1
[1517
| |
1912]
31 大崎電気

巽川の左右の大型砲を前面にパワ
ーで勝負をかけた。一方、前年の
チャンピオン立石は、小粒ながら
も豊富な運動量と組織プレーで対
抗、京都ということもあって両チ
ーム応援団が大声援。

得	〔日立〕	G K { F P { 〔審・矢・横・澤・瀬〕
0	岡	
0	葛	
1	前	
1	井	
3	背	
2	山	
3	尾	
0	中	
3	神	
0	繁	
0	新	
3	岡	
3	在	
3	永	
3	家	
3	井	
3	田	

28 (3) P T

- 7 -

〔男子〕三陽商会
〔女子〕シャトレーズ
が制す

〈男子〉

三陽商會 33	本田熊本 27	豊田織機 25	三陽商會 30	本田熊本 25	中村荷役 29	本田熊本 27	三景 35	三陽商會 32	トヨタ車体 22	日鉄建材 24	トヨタ車体 15	三景 26
$\frac{1617}{89}$	$\frac{1611}{1110}$	$\frac{1114}{127}$	$\frac{1515}{117}$	$\frac{1312}{128}$	$\frac{1712}{99}$	$\frac{1413}{157}$	$\frac{1916}{1111}$	$\frac{1715}{710}$	$\frac{139}{810}$	$\frac{1014}{108}$	$\frac{87}{86}$	$\frac{1115}{138}$
17大阪ガス	21豊田織機	19大阪ガス	18本田熊本	20三景	18日鉄建材	22中村荷役	22日鉄建材	17豊田織機	18大阪ガス	18大阪ガス	14豊田織機	21中村荷役

三景商会 33	三陽商会 38	トヨタ車体 25	三陽商会 29	三 景 28	三陽商会 31	三 景 28	三 景 28	本田熊本 32	大阪ガス 19	本田熊本 27	豊田織機 31	豊田織機 21	本田熊本 30	日鉄建材 25
$\frac{1716}{97}$	$\frac{1721}{811}$	$\frac{1213}{911}$	$\frac{920}{116}$	$\frac{1117}{128}$	$\frac{1714}{810}$	$\frac{1117}{128}$	$\frac{1414}{812}$	$\frac{1913}{119}$	$\frac{109}{810}$	$\frac{1314}{148}$	$\frac{1417}{1110}$	$\frac{813}{127}$	$\frac{1614}{911}$	$\frac{1510}{1014}$
16大阪ガス	19日鉄建材	20中村荷役	17中村荷役	20トヨタ車体	18トヨタ車体	20トヨタ車体	20豊田織機	20日鉄建材	18中村荷役	22トヨタ車体	21日鉄建材	19中村荷役	20大阪ガス	24トヨタ車体

女子

三陽商会	33	1419	1612	28	三	景
(順位)						
①三陽商会	(7勝)					
②本田技研熊本	(6勝1敗)					
③三景	(5勝2敗)					
④トヨタ車体	(3勝4敗)					
⑤豊田自動車織機	(3勝5敗)					
⑥日鉄建材工業	(2勝5敗)					
⑦大阪ガス	(1勝6敗)					
⑧中村荷役運輸	(1勝6敗)					
※勝点が同数間の順位は、当該チーム間の対戦結果による。						
〈女子〉						
ブラザー工業	49	2821	16	7	ムネカタ	
ソニー国分	21	147	115	16	北国銀行	
東京重機	35	1619	1010	20	ムネカタ	
北国銀行	22	1210	109	19	東京重機	
ソニー国分	30	1515	73	10	ムネカタ	
東京重機	28	1513	149	23	ソニー国分	

〔順位〕

- ①三陽商会（7勝）
- ②本田技研熊本（6勝1敗）
- ③三景（5勝2敗）
- ④トヨタ車体（3勝4敗）
- ⑤豊田自動車織機（3勝5敗）
- ⑥日鉄建材工業（2勝5敗）
- ⑦大阪ガス（1勝6敗）
- ⑧中村荷役運輸（1勝6敗）

※勝点が同数間の順位は、当該チーム間の対戦結果による。

北国銀行	46	2026	12	4	16	ムネカタ
シャト	33	1419	9	9	18	北国銀行
レーゼ	25	1213	9	8	17	ソニー国分
ブラザー	25	9	8	15	ブラザー	
工業	21	12	9	7	工	業
レーゼ	28	1513	13	5	28	東京重機
シャト	25	16	9	12	24	北国銀行
工業	29	1613	11	7	18	ムネカタ
レーゼ	33	1815	11	5	16	ソニー国分
シャト	31	1516	6	9	15	東京重機
ブラザー	31	6	9			
工業						

〔順位〕

① シャトレーゼ (5勝)

② ブラザー工業 (4勝1敗)

③ 東京重機工業 (2勝3敗)

④ ソニー国分 (2勝3敗)

⑤ 北国銀行 (2勝3敗)


⑥ ムネカタ (5敗)

※2・4位は3チーム間の得失点差による。

差による。

※2、4位は3チーム間の得失点

楽しみます。

ライフステージをおしゃれに彩る  小物たちを、ミシンでつくってみませんか?

東京重機工業株式会社 〒182 東京都調布市国領町8-2-1 ☎03(480)1111

この笑顔、いつまでも。



5人以上のグループでこの保険に加入できます。

保険料(年額1人あたり)

■スポーツ少年団、子ども会など中学生以下の子どものグループ **350円**

■文化活動、奉仕活動のグループおよび老人のグループ(ゲートボールなど) **600円**

■ママさんバレーなどの地域スポーツグループ、高校の運動部および大学・会社などのスポーツ同好会など **1,050円**

注:ほかにも学生連盟、実業団連盟に所属する団体の加入も扱っています。

補償の内容

傷 害 保 険	死亡・後遺障害 入院 (1日につき) 通院 (1日につき)	最高	1,200万円 3,800円 1,200円
	賠償責任保険	支払限度額 対人 対物	5,000万円 100万円

対象となる事故

■グループ活動中の事故 ■往復途上の事故

保険期間

昭和63年4月1日より翌年3月31日まで(申込受付は3月から)

加入申し込み、資料の請求、お問合わせ

スポーツ安全協会各都道府県支部(主として教育委員会保健体育課および体育協会)、もよりの東京海上火災保険㈱の営業店にご照会ください。

(財)スポーツ安全協会

東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館 TEL(03)481-2431(代表)

'87男子ジャパンカップにおける 日本、ユーゴ、西ドイツの体格、 形態、体力の比較について

〈日本ハンドボール協会トレーニング・ドクター群〉

阿部徳之助¹⁾、竹内正雄²⁾、栗岩淳一³⁾、森川寿人⁴⁾、宮澤恒夫⁵⁾、西山逸成⁶⁾

〈協力者〉北川勇喜⁷⁾、藤原侑⁸⁾、松井幸嗣⁹⁾、上嶋美佐子¹⁰⁾、

日本体育大学ハンドボール部員

(1)自治医科大学 (2)星薬科大学 (3)都立日野高校 (4)九州女子大学 (5)高井戸中学校 (6)防衛大学 7)8)9)10)

日本体育大学

1. はじめに

我が国のハンドボールの競技力を向上させるためには、世界のトップレベルにある選手たちの、形態や体力を把握することをはじめとして、試合中の選手相互の動きをVTRにおさめ、動作学的解析やゲーム分析が今後の強化に有用であることは論をまたない。

この度は、日本ハンドボール協会創立50周年記念行事として、ロサンゼルス・オリンピック大会で金メダルを獲得したユーゴ、銀メダルの西ドイツチームを日本に招いて、世界のトップレベルのハンドボールゲームが行なわれた。

我々トレーニング・ドクターグループは、日本ハンドボール選手たちの今後の強化策の指針を得ることを目的とし、これらの選手たちの体力測定を大会期間中に実施した。

2. 方 法

- ① 対象 日本、ユーゴ、西ドイツ
- ②日時 1987. 6月1日(13:00—18:00)
- ③場所 東京都代々木第1体育館
- ④ 測定項目
 - (イ) 体格 年齢、身長、体重
 - (ロ) 形態 胸囲、座高、上腕囲(伸展)、上腕囲(屈曲)、前腕囲、大腿囲、下腿囲
 - (ハ) 運動能力 肺活量、背筋力、握力(右・左)

3. 結 果

(1) 体 格

図—1 1987年ジャパンカップ参加の日本、ユーゴおよび西ドイツ選手の形態、体力の比較を示した。

これをみると、年齢では、日本 26.7 ± 1.97 歳、ユーゴ 26.9 ± 2.7 歳で日本とは、ほぼ同じ年齢であり、西ドイツ 22.9 ± 2.38 歳でもっとも若いチームであった。

次に身長をみると、日本 182.8 ± 4.05 cm、西ドイツ 190 ± 8.99 cmで日本が西ドイツよりも8 cm低い($P < 0.01$)。また、ユーゴ 187.4 ± 4.90 cmで日本が5 cm低い($P < 0.01$)。

体重では、日本 78.1 ± 5.35 kg、ユーゴ 90.6 ± 6.04 kg、西ドイツ 88.7 ± 8.13 kgで、日本がユーゴ、西ドイツよりも11~13 kg軽量であった($P < 0.01$)。

(2) 形 態

座高では各チームともほとんど同じ値で差がみられなかった。次に胸囲では、日本が 96.9 ± 4.67 cm、ユーゴ 102.9 ± 3.9 cm、西ドイツ 103.3 ± 5.57 cmで日本が約6.4 cm他のチームよりも小さかった($P < 0.01$)。

次に上腕囲伸展をみると、日本 28.0 ± 1.00 cmで、ユーゴ、西ドイツが2~3 cm大であった目 $P < 0.01$)。

上腕囲屈曲では、日本 33.1 ± 1.15 cmで、ユーゴ、西ドイツがここでも約2 cm大であった($P < 0.01$)。

さらに前腕囲では、日本 28.7 ± 1.24 cmで、ユーゴ、西ドイツが約2 cm大であった($P < 0.01$)。

さらに前腕囲では、日本 28.7 ± 1.24 cmで、ユーゴ、西ドイツが約2 cm大であった($P < 0.01$)。下肢の大腿囲、下腿囲では、日本は他のチームとほとんど同じ値で差はない。

(3) 運動能力

肺活量では、日本 5138.2 ± 635.2 ccでもっとも低い。西ドイツ 575.3 ± 948.6 cc ユーゴ 6040 ± 727.4 ccでもっとも高い値を示した。日本と比べると西ドイツ、ユーゴは有意に高い傾向がみられた($P < 0.01 \sim P < 0.05$)。

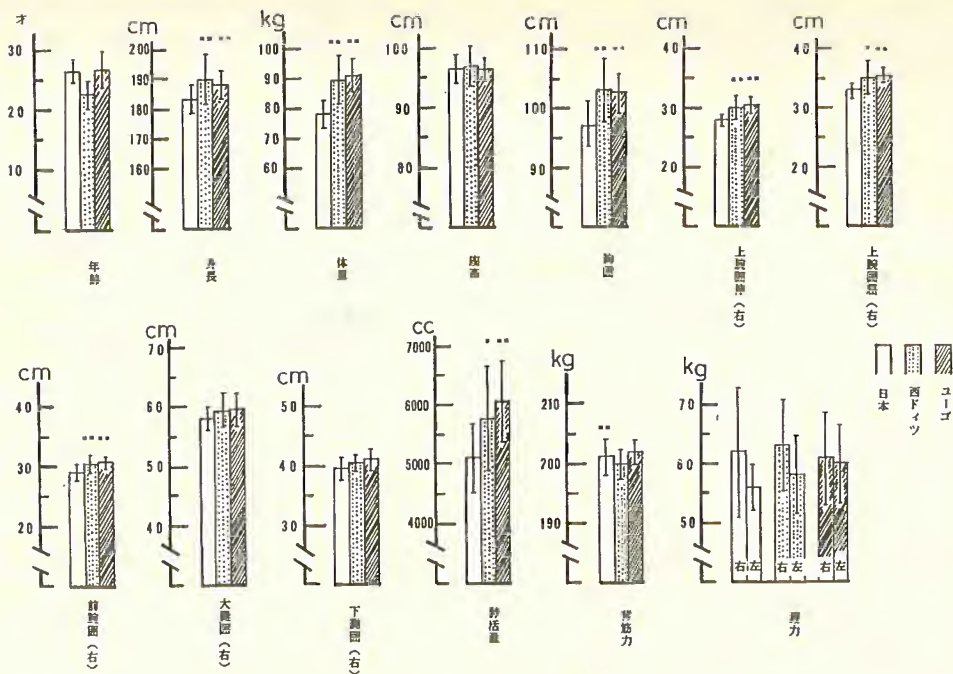


図-1 ジャパンカップの日本、ユーゴ、西独選手の形態、体力の比較

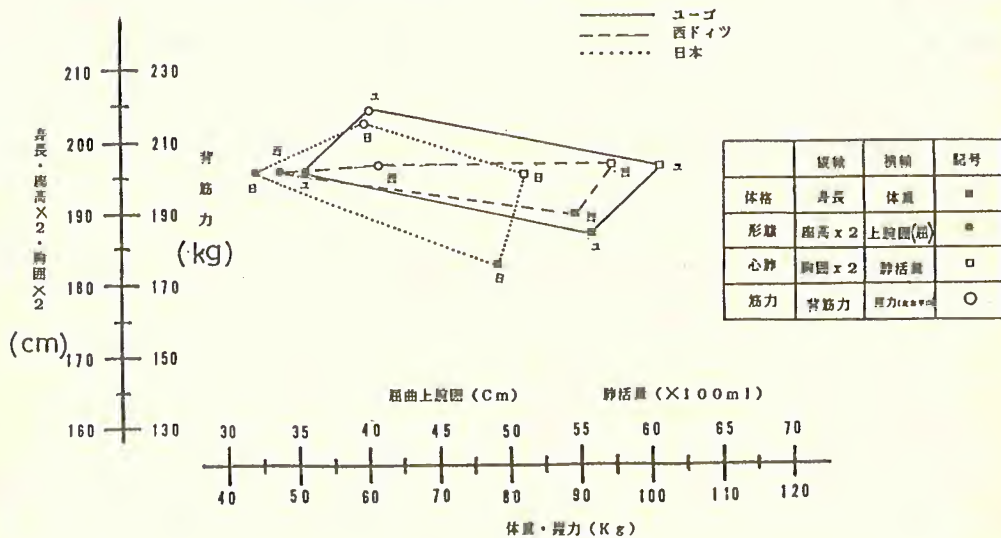


図-2 1987 ジャパンカップ 日本、ユーゴ、西ドイツハンドボールチームの体力的概観

実績と信頼の公式試合球

イルマボール



日本ハンドボール協会検定球 HL-3, HL-2



ALL OVER THE WORLD

IRUMA

ハンドボール

入間川ゴム株式会社

東京・埼玉・大阪・名古屋

また、肺活量は身体形態値によって左右されるといわれていることから、これを身長比でみると、日本とユーゴとの間の比較では統計的に有意にユーゴが高い値がみられた ($P<0.01$)。

背筋力では、日本 213.3 ± 30.13 kg で西ドイツよりも高い値であった ($P<0.01$)。しかし、日本とユーゴとはほぼ同じ水準である。握力の左右の筋力では、各国ともほとんど同じ水準を示した。

図—2。1987年ジャパンカップで日本、ユーゴ、西ドイツ、ハンドボールチームの体力概観を示したものである。

日本 17名、ユーゴ 15名、西ドイツ 15の身長、体重、胸囲、座高、上腕囲、肺活量、背筋力、握力などの測定の前平均値から白井体勢図⁽¹⁾を作成し相互の比較をした。

① これによると、ユーゴのハンドボール選手としての体力的特性は、体格、形態、心肺機能の位置が右寄りの高い位置にあり、日本、西ドイツに比較して全般的に優れている傾向を示している。

② 日本の特徴は、ユーゴ、西ドイツに比較して、体格、心肺機能などでやや劣る四辺形を示した。

4. 考 察

(1) 体 格

身長では、図—1に示したごとく、日本はユーゴや西ドイツと比べてみると、平均5~8 cm 低く、西ドイツ選手の中には身長が2 m に達する選手が3名入っている。

世界のトップレベルにあるハンドボール選手たちの身長は年々高くなる傾向にあるなかで、日本チームの大型化の対策が望まれる。一般に体重は身長の充実度をあらわしているが、日本チームの体重は、ユーゴ、西ドイツと比べると11~13 kg 軽い。

ハンドボール競技の特性からみた場合、身体接触から衝突へと発展するときに、相手をはじきとばす要素としても必要である。筋力トレーニングによって筋肉量を増す努力、即ち、筋力パワー強化へのトレーニング姿勢も日本選手が必要である。

(2) 形 態

上肢の周径囲では、上腕囲(伸)、上腕囲(屈)、前腕囲での項目でユーゴ、西ドイツよりも有意に低い値を示している。これは上肢の筋力不足によるものと思われることから、上肢の筋力強化を行なうべきである。

下肢の周径囲に、各チームの間には差がみられなかったが、日本チームには、上・下肢の筋力トレーニングをこれまで以上に重視する必要を痛感させられた。

(3) 運動能力

呼吸・循環器系の機能での肺活量をみると、肺活量は、体表面積とに関係がみられることから、これを身長比で評価した結果をみると、日本とユーゴとの間に統計的な有意な差がみられた。測定実施のときに、ユーゴ選手の中に肺活量メーターは上限7000 cc を、パシッチ(27歳)、コピッチ(28歳)、ピッチ(21歳)が針をはじき飛ばして計測不能となり、彼等の呼吸器系能力の大きさをみせつけられた。

次に背筋力、握力の筋力をみると、各チームの間ではほとんど差がないが、日本が西ドイツよりも背筋力値が高かった。

以上、ジャパンカップの競技成績と形態、体格、心肺機能との関係をもて、形態や体格、心肺機能の能力が優れているチームは競技成績もよく、今後、全日本の選手たちの体格、体力、呼吸・循環器系の機能などとユーゴや西ドイツチームの世界のトップレベルにある値に近づけるための強化策が早急に計画立案を作成し実践しなければならない。

この度の測定にあたり、ハンドボール協会専務理事安藤純光氏はじめ関係役員諸氏の御協力に心から感謝する。

なおこの測定は、技術担当の関東在住のトレーニング・ドクター群委員によって行なわれた。

〔文献〕

(1) 白井伊三郎、阿部野竜正：日本人の体勢の特異性とその運動適性に就て：体力科学。1(1)。36~39, 1950



創業70年

中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村 昭 光

本 社 〒108 東京都港区芝浦 2-3-39

電話 東京 (03) 451-4161(代)

'87男子ジャパンカップにおける 日本、ユーゴ、西ドイツのゲーム 分析について

〔日本ハンドボール協会トレーニング・ドクター群〕

阿部徳之助¹⁾, 竹内正雄²⁾, 栗岩淳一³⁾

森川寿人⁴⁾, 宮澤恒夫⁵⁾, 西山逸成⁶⁾

〔協力者〕北川勇喜⁷⁾, 藤原佑⁸⁾, 桜井幸嗣⁹⁾, 上嶋美佐子¹⁰⁾

日本体育大学ハンドボール部員

- 1) 自治医科大学 2) 星薬科大学 3) 都立日野高校 4) 九州女子大学 5) 高井戸中学校 6) 防衛大学
7) ~10) 日本体育大学

1. はじめに

昭和62年(1987)は、ハンドボール競技においてオリンピック大会に出場できるかどうかが決定される重大な年であった。全日本チームは8月のオリンピック予選を目指して、計画的なトレーニングを行なった。日本ハンドボール協会創立50周年記念行事とあわせて、競技力の向上をさせることを目的とし、世界のトップレベルにある、ユーゴ、西ドイツと日本が対戦し、その試合をVTRにおさめ、その中からゲーム分析を行ない今後の強化に役立てようとしたものである。

2. 方 法

- ① 対象 日本、ユーゴ、西ドイツ
- ② 日時 1987年5月31日から6月2日
- ③ 場所 東京・代々木第1体育館
- ④ 分析項目

パス回数、攻撃に対する得点率(得点/攻撃回数)シュート率(得点/シュート数)、ドリブル回数、移動距離(200分の1のハンドボール競技場縮図を用意し、1人の検者が1人の被検者を追跡し、1試合における軌跡を記入した。それをもとに実際の移動距離を算出した。)

3. 結 果

図一1、図一2、表一1に、日本対ユーゴの移動距離、パス回数、攻撃における得点率、シュート率を示した。これをみると、1試合の移動した距離では、日本3249m、ユーゴ3307mではほぼ同じ値である。その内訳をみると、日本が全力疾走の前半と後半の合計の走った距離は、1240mに対して、ユーゴ731mで、日

本が約500m多く走っている。中間走では、ユーゴが日本よりも約100m多い。

また、個人別にもっとも長い距離を走った選手は、ユーゴのヤスシン・ムコニアン(29歳、身長、175.2cm、体重82kg)4938m、日本の西山清(29歳、身長181.2cm、体重76kg)3463mであった。

次に、1試合に使用したパスの回数をみるとユーゴ、日本ともほぼ同じ回数であり、これを1回の攻撃に使用した回数の平均は、日本11.2回、ユーゴ10.6回であった。チームがボールを保持してから攻撃し、シュートまでの得点率をみると、前半では、日本23%、ユーゴ52%、後半の日本35%、ユーゴ61%で、前・後半ともにユーゴが高い得点率であった。

シュート率では、日本前半27%、ユーゴ47%、後半日本の50%、ユーゴ74%であった。

図一2は日本対西ドイツの移動距離、パス回数、攻撃に対する得点率、シュート率を示した。

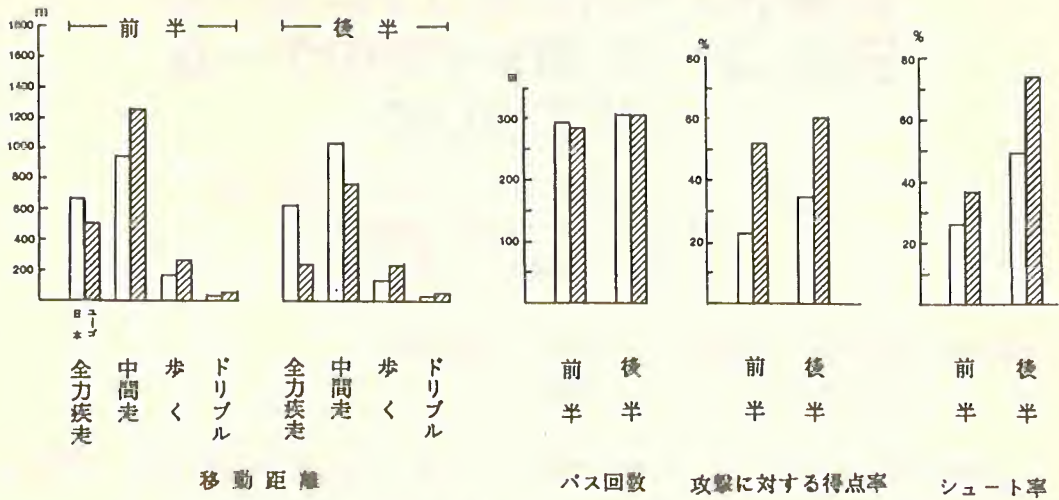
これをみると、移動距離では、日本3106m、西ドイツ2330mである。日本が全力疾走約200m、中間走678mでユーゴよりも多い。両チームで、もっとも長い距離を走った選手をみると、西ドイツのクリステリア・フィック(26歳、身長193cm、体重90kg)3093m、日本の奥田新治(28歳、身長184cm、体重74kg)2970mであった。

次に、1試合のパスを使用した回数では、日本265回、西ドイツ517回で、日本が西ドイツよりも50%少なかった。

また、これを攻撃における得点率からみると、前半の日本58%、西ドイツ52%で、ほぼ同じ得点率であり、後半では、日本29%、西ドイツ52%である。日本は前・後半の合計すると43%という低い値である。

(男子)

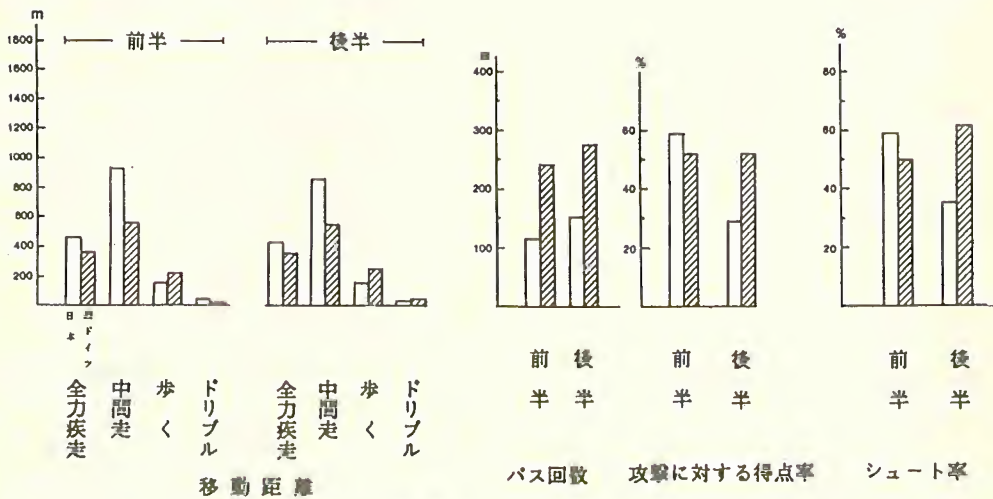
日本 15 $\begin{pmatrix} 7-17 \\ 8-14 \end{pmatrix}$ 31 ユーゴ



図一 日本対ユーゴチームの移動距離、パス回数、攻撃に対する得点率、シュート率を示した

(男子)

日本 17 $\begin{pmatrix} 10-11 \\ 7-12 \end{pmatrix}$ 24 西ドイツ



図二 日本対西ドイツチームの移動距離、パス回数、攻撃に対する得点率、シュート率を示した

滋養強壯剤

薬用人参・牛黄・大蒜製剤

キョーレオピン®

レオピン®

ファイブ

効能・効果

血養強壯・虚弱体質・肉體疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給

湯永製薬株式会社

〒553 大阪市福島区福島3丁目1番39号 ☎06(458)8901(代)

〒101 東京都千代田区三崎町1丁目3番12号 ☎03(293)3351(代)

表-1 1987ジャパンカップの日本、ユーゴ、西ドイツ体格、移動距離

チー ム		年 齢	身 長	体 重	前 半				後 半				合計(m)
		才	cm	kg	全力疾走(m)	中間走(m)	歩く(m)	ドリブル(m)	全力疾走(m)	中間走(m)	歩く(m)	ドリブル(m)	
日 本	X	26.7	182.8	78.1	634.6	924.3	173.3	16.5	605.3	1030.8	154.6	9.8	3249.2
	S.D	1.97	4.05	5.35									
ユーゴ	X	26.6	187.4	90.6	503.7	1241.7	286.8	20.5	228.0	776.0	230.5	20.1	3307.3
	S.D	2.74	4.89	6.04									
日 本	X	26.7	182.8	78.1	467.2	936.0	165.2	48.8	439.7	891.0	154.8	2.8	3105.5
	S.D	1.97	4.05	5.35									
西ドイツ	X	22.9	190.0	88.7	337.0	577.0	209.0	15.0	360.0	572.7	252.2	7.5	2330.4
	S.D	2.38	8.99	8.13									

シュート率からみると、前半の日本59%、西ドイツ50%、後半、日本35%、西ドイツ62%であった。前・後半の合計で47%という低いシュート率であった。

4. 考 察

(日本対ユーゴ)

60分間の試合時間の中でハンドボール競技場を走った距離は、日本3249 m、ユーゴ3307 mで、両チームともほぼ同じ値を示している。我が国においては、藤原⁽¹⁾たちは、1967年全日本室内総合選手権大会(決勝リーグ)で、8ゲームの平均4204 m(全力疾走663 m、中間走2838 m、走行673 m、ドリブル31 m)の移動距離の報告もみられる。

さて全力疾走では、日本が500 m多く走っていたが、走行距離だけみると、得点の結果では、日本選手たちの走行が直接、得点や防御のために有効なものかの判断はできないが効率が悪いことは考察できよう。走行についてその時期、速度、有効性について再検討する必要がある。

1 試合中に使用されるパス回数をみると、両チームともほぼ同じであるが、ハンドボール競技はパス・キャッチはもっとも重要な基本技術であることから、ボールを扱いながら相手とかわす技術や他への技術を継続展開させてやることや、そのパスされたボールが有効でしかも高い確率でなければ、そのパスは何の意味もなく、むしろ相手にボールを奪われ得点される危険性が生じてくる。そんな点に両チームのパス技術の差があるのかも知れない。

次に攻撃に対する得点率をみると、日本チームはボールを保持し、シュートを含めた失敗がなんと70%にも達している。一方のユーゴチームは40%にすぎない。その主な原因は、攻撃や防御面での身体接触による体力消耗による走行スピードや走行距離の変化などによるパスや動きの見誤りの過誤によるミスなどや長身者に対しての対応の困難さからミスが発生していると推測される。

(日本対西ドイツ)

60分間の移動した距離では、日本は西ドイツよりも全力疾走(2000 m)や中間走(680 m)での量的側面、即ち走る量が多いといえる。しかし、その走りが試合の中で適切なものであったか、有効であったかの評価、判定はここでは困難ではあるが、試合の結果からみて有効な走行であったとはいいがたい。前述したようにどのような走行が有効であるかの判定を再検討する必要がある。

次に、攻撃に対する得点率をみると、日本が前半60%という高い得点率であったにもかかわらず、後半僅か29%と低い得点率を示した。日本チームは前半、列強チームと余り差異のないゲーム展開をしているが、後半かなり競技力差を痛感せざるを得ないゲーム展開を示している。この原因を追求し改善策などを求めなければならない。

[文献]

- 1) 幕原侑他：ハンドボールゲーム分析について：体育学研究. 14(5). p. 267, 1970



日本が生んだ世界のボール
日本ハンドボール協会検定球(J・H・A)

タチカラ ムレス ボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れた
L・B・C中空製法です。

TACHIKARA
タチカラ

タチカラ株式会社

東京都台東区松ヶ谷1-11-7
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

各地の記録から...

東北

全国高校選抜東北予選

(1月27日～29日/野辺地町)

〈男子〉

予選リーグ

○Aブロック

聖光学院 24-17

聖光学院 33-16

青森商 31-21

○Bブロック

盛岡第一 23-20

盛岡第一 25-21

湯沢 26-20

決勝リーグ

聖光学院 18-9

青森商 21-9

青森商 18-12

青森商 10-8

聖光学院 15-5

岡第一 ④湯沢

〔順位〕①聖光学院②青森商③盛岡第一④湯沢

〔女子〉

予選リーグ

○Aブロック

郡山女 15-12

花巻女 30-29

湯沢女 33-31

白亜女 30-15

▽2回戦

東北学院OB

第24回東北総合選手権

(1月30日～31日/野辺地町)

〈男子〉

▽1回戦

仙台育英高 31-13

湯沢女 30-23

学石女 24-21

東北学院OB 29-22

▽2回戦

白亜女 30-15

湯沢女 33-31

花巻女 30-23

東北学院OB

郡山女 14-11

大曲農 19-10

○Bブロック

聖和学園 28-8

聖和学園 18-12

日大山形 18-8

▽決勝リーグ

郡山女 11-3

大曲農 19-11

聖和学園 24-6

郡山女 15-5

〔順位〕①郡山女②聖和学園③大曲農④日大山形

〔女子〉

準決勝

花巻女 31-17

湯沢女 29-19

▽決勝

花巻女 31-17

湯沢女 29-19

▽準決勝

花巻女 31-17

湯沢女 29-19

▽決勝

花巻女 31-17

湯沢女 29-19

▽準決勝

花巻女 31-17

湯沢女 29-19

▽決勝

花巻女 31-17

湯沢女 29-19

▽準決勝

準決勝
湯沢女 29-19
花巻女 31-17
▽決勝
花巻女 31-17

花巻女 31-17
湯沢女 29-19
▽準決勝
花巻女 31-17
湯沢女 29-19

▽1回戦
野辺地女 17-11
岩手桐花女 20-13
聖和学園 28-15
大曲農 11-8

▽2回戦
大曲農 25-13
大曲農高 30-12
聖和学園 16-15
全緑が丘 28-14

▽準決勝
大曲農 28-14
大曲農高 30-12
聖和学園 16-15
全緑が丘 28-14

▽決勝
大曲農 28-14
大曲農高 30-12
聖和学園 16-15
全緑が丘 28-14

▽1回戦
大曲農 28-14
大曲農高 30-12
聖和学園 16-15
全緑が丘 28-14

▽2回戦
大曲農 28-14
大曲農高 30-12
聖和学園 16-15
全緑が丘 28-14

▽準決勝
大曲農 28-14
大曲農高 30-12
聖和学園 16-15
全緑が丘 28-14

▽決勝
大曲農 28-14
大曲農高 30-12
聖和学園 16-15
全緑が丘 28-14

木間ヶ瀬 17-2
福明 20-8
見明 12-10
富岡 21-6
東邦 21-5
妙典 13-4
野田 29-12
市川 19-9
逆井 16-10

逆井 16-10
市川 19-9
野田 29-12
妙典 13-4
東邦 21-5
富岡 21-6
見明 12-10
福明 20-8

福明 20-8
見明 12-10
富岡 21-6
東邦 21-5
妙典 13-4
野田 29-12
市川 19-9
逆井 16-10

逆井 16-10
市川 19-9
野田 29-12
妙典 13-4
東邦 21-5
富岡 21-6
見明 12-10
福明 20-8

福明 20-8
見明 12-10
富岡 21-6
東邦 21-5
妙典 13-4
野田 29-12
市川 19-9
逆井 16-10

逆井 16-10
市川 19-9
野田 29-12
妙典 13-4
東邦 21-5
富岡 21-6
見明 12-10
福明 20-8

福明 20-8
見明 12-10
富岡 21-6
東邦 21-5
妙典 13-4
野田 29-12
市川 19-9
逆井 16-10

逆井 16-10
市川 19-9
野田 29-12
妙典 13-4
東邦 21-5
富岡 21-6
見明 12-10
福明 20-8

福明 20-8
見明 12-10
富岡 21-6
東邦 21-5
妙典 13-4
野田 29-12
市川 19-9
逆井 16-10

逆井 16-10
市川 19-9
野田 29-12
妙典 13-4
東邦 21-5
富岡 21-6
見明 12-10
福明 20-8

NISHIOKA

新発売

ワイヤレススコアボード(多種日用)

日本ハンドボール協会検定

ハンドボールゴール

西岡体機工業株式会社

〒558 大阪市住吉区南住吉3丁目17-5

本年納入先 大阪府立体育館
大阪市長居球技場

電話 (06) 693-5756~9
FAX (06) 694-5040



— 17 —

昭和63年度事業計画日程表

月	全 国 大 会	国際大会、海外遠征	普 及 ・ 審 判
63 4		男子Nヨーロッパ遠征 3/24～4/10 (西ドイツ、アイスランド) 国際スポーツフェア'88 4/30・5/2 (東京)	
5	第29回全日本実業団選手権(女子) 5/13～15 (半田市)	アイスランド招待国際大会 5/4 (名古屋)・5/5 (大阪) 男子Nユーゴカップ 5/15～6/1 (ユーゴ)	A・B級審判審査会 5/中～6/中 (東京他)
6	JHLカップ 6/10～6/12 (各地) 第29回全日本実業団選手権(男子) 6/23～26 (大阪)		
7			
8	第39回全日本高校選手権 8/1～8/7 (兵庫) 第31回全日本教職員選手権 8/8～8/13 (札幌) 第15回全国高専選手権 8/6～8/7 (熊本) 第8回全国クラブ選手権 8/13～8/15 (松山) 第17回全国中学校大会 8/19～8/22 (福島)	男女ユースアジア選手権大会 8/5～8/15 (シリア) 日韓ジュニア交流(高校) 8/中～8/下 (韓国慶州)	第1回全国小学生大会 8/17～8/20 (京都) 小学生指導者養成講座 8/17～8/20 (京都) レフェリー・トレーナー研修会 8/20 (福島) JHAレフェリーコース(後期) 8/22～8/24 (東京)
9	第20回全日本自衛隊選手権 未定 (東京)	AHF、IHF総会 9/10～9/15 (ソウル) ソウルオリンピック(ハンドボール) 9/20～10/1 (ソウル)	審判員海外研修 (未定)
10	第43回国民体育大会 10/16～10/20 (京都) 第13回日本リーグ 前期 10/29～11/26 (各地)		レフェリー・トレーナー研修会 10/18 (京都)
11	第31回全日本学生選手権 11/1～11/6 (福岡)		
12	第40回全日本総合選手権 12/15～12/18 (東京)		国際審判研究会 12/16 (東京)
64 1	第13回日本リーグ 後期 1/28～3/5 (各地)		審判審査委員会 1/6～1/8 (東京) 審判部合同委員会 1/7～1/8 (東京)
2	第20回実業団トーナメント 未定 (大阪)	男子B世界選手権 2/15～2/26 (フランス)	コーチ講習会(外国人講師) 2/4～2/8 (東京) 公認指導者講習会 未定
3	S.63.全国高校選抜 3/23～3/27 (名古屋)		公認審判員中央研修会 3/26 (東京) JHAレフェリーコース(前期) 3/28～3/30 (東京)

adidas®



株式会社デサント/デサントトレーディング株式会社

「日本ハンドボール史」購入の申し込みをお早めに

みなさますでに御承知のように、日本ハンドボール協会創立50周年を記念しての「日本ハンドボール史」が、今春無事完成致しました。

この冊子は、右の内容を御覧いただいてもわかりますように、日本ハンドボール界の50年の歩みを余す所なく御紹介するとともに、これまで埋もれていた様々なエピソードを紹介し、記録としても、読物としても大変興味深いものとなっております。

これまで日本ハンドボール界のために尽くしてこられた方々にも、また、今後日本ハンドボール界を背負っていただく方々にも、是非御一読いただきたいと思ひます。

〔「日本ハンドボール史」の主な内容〕

〔体裁〕 B5判 880頁 ケース入り

〔主な内容〕

- 日本ハンドボール50年の歩み
- 47都道府県協会史
- 全国連盟・団体の歩み
- ハンドボール史を彩るエピソード
- 全国大会の記録をすべて
- 海外の主要な大会（オリンピック、世界選手権、アジア大会など）の記録

〔定価〕 7000円

※次第に残り部数が少なくなってきておりますので、御希望の方は、なるべく早めに下記宛お申し込み下さい。

〒150東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育館内
(財)日本ハンドボール協会

「日本ハンドボール史」係

TEL 03-481-2361

molten®

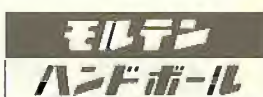


**瞬間、
信頼の手がかり!**

独自の32面体
ノンスリップ構造で
ダイナミックプレーを演出する

モルテンハンドボール

独特のリップ形状とパネル間段差の“32面体ノンスリップ構造”で確かな手がかりを生み出すとともに、ナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現したモルテンハンドボールは、日本ではじめて国際ハンドボール連盟(I.H.F.)公認を獲得。ハンドボールの圧倒的な人気と信頼を集めています。



株式会社 **モルテン**
東京本社 東京都豊島区池田5-5-7 電話 (03) 551-7541
東京・大阪・広島・名古屋・福岡・札幌・ロサンゼルス・ジュネーブル



アシックスは



1994 100%

アシックスは
オリンピックキャンペーンの
オフィシャルスポンサーです。

百個のグリップ力。アウトドア専用。

マルチコンソールが、グラウンドを確実にグリップする。初のアウトドアハンドボールシューズ、スカイハンド® SL。

アウトソールには、片足に100個以上のポイントを独特の形状で配置。アウトドアのグラウンドコンディションに確実に応えるハンドボールシューズの登場です。側面には傾斜をつけ、倒れ込みシュートを打ちやすく。かかと部を上げて着地衝撃を吸収しやすい形状に。大空での空中戦を十二分に意識した、初めてのハンドボールシューズです。

品番 THH 501 品名 スカイハンド® SL

メーカー希望小売価格 ¥9,200

カラー/ホワイト×レッド

ホワイト×ネイビーブルー

サイズ/22.5~28.0cm

株式会社 アシックス

●お問い合わせは株式会社アシックス消費者相談課までどうぞ。〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 ☎ (078) 303-2233(専用) (078) 303-3333(大代) 〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 ☎ (03) 624-1814(専用) (03) 624-2221(大代) ■本文中®は®アシックスの登録商標です。

CUP'87